

TAIWAN JAPAN

次代の国際交流を
提案したい



授業を行う
台湾生徒に教える?!

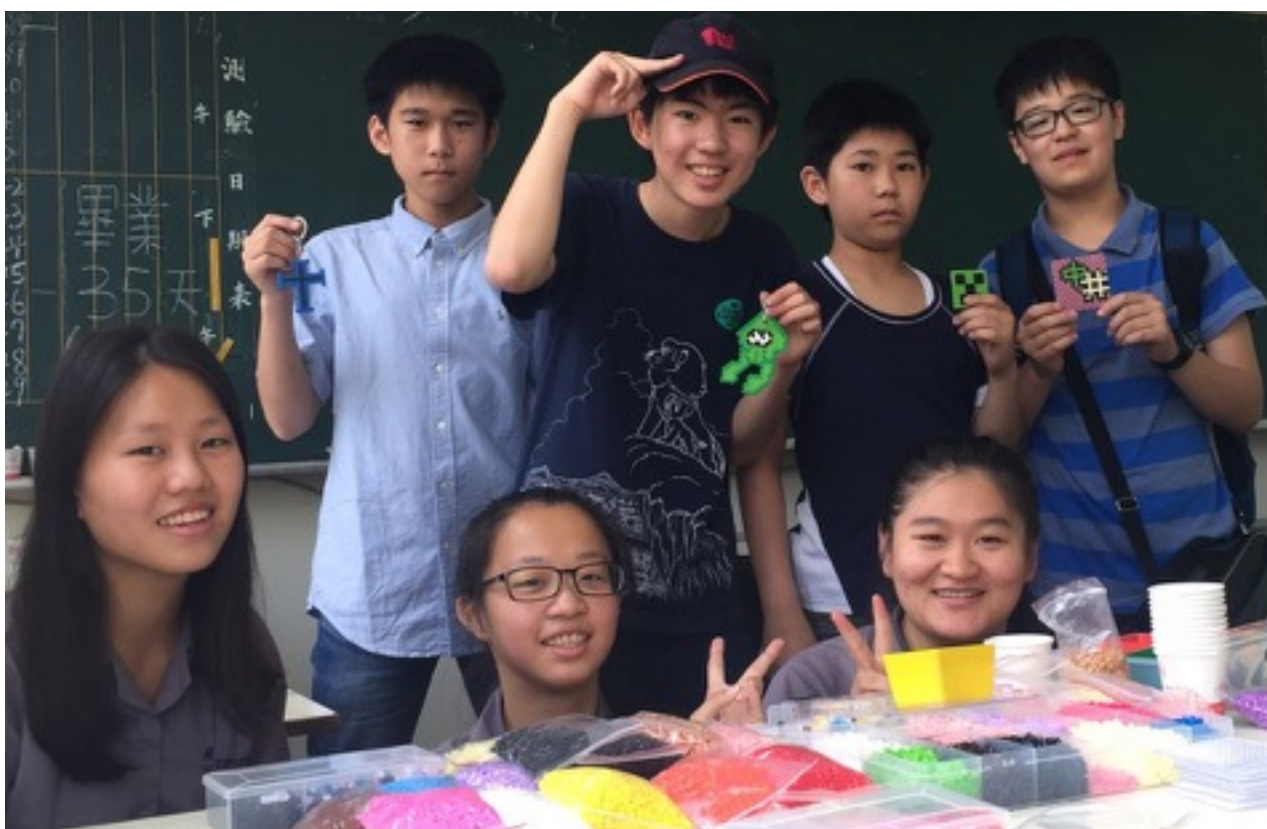


マーカイさんの銅像
美しい淡水にある名所



マーカイ協会
淡江中と同志社の繋がりは
長老教会からはじまった

COLLABORATION_18



淡江高級中学で授業交流！

2016年5月4日、台北の名門の私立中学「淡紅高級中学」の高校生と同志社中学4名が国際交流しました。メインとなる授業交流プログラムは、授業交流です。ビーズのような細かいパーツを組み立てていって、最後は熱処理をして固める。淡江の生徒のアドバイスを受けてオリジナル作品を製作しました。

未来の授業に国境はない。年齢も立場も専門分野も超えて、アイデアや学びをシェアする授業がやってきた

2時間目は、なんと体育の授業に参加させてもらいました。本校の生徒の中には、バスケットがやたら上手い生徒がいて、たくさんのポイントを得て、淡江の生徒たちとすっかりなじんでプレーすることができました。

3時間目は、恒例となりつつあるロッククライミング。校庭にロッククライミング専用の壁が作られ、ロッククライミングの専門家の教師（コンテストでも現役で入賞しているとのこと）が指導します。そり立つ壁を前に、「できるかな？」と不安になりますが、以外と行けるものなのです。大汗を書きながらロープを持ってくれる高校生に感謝感謝。

最後は、日本語の授業で日本語のネイティブスピーカーとして教壇にたち教える。チームに別れて、中国を教えてもらいながら自己紹介のプレゼンを行うというコンテストを授業内で実施しました。初めてであったとは思えないくらいの楽しい雰囲気でお互いジョークやツッコミをいれながら楽しそうに取り組んでいました。英語、中国語、日本語、それぞれ混じった不思議なコミュニケーション空間でした。

国境を越え課題を共同で

既に現実社会では、アジアの国の会社と上手くコミュニケーションをとりながら協同で商品開発しているものづくりが一般的になっている。「国境を越えて、ともに知識や知恵をシェアし、一緒になってアイデアを出し合い、目の前の課題に対して解決しようと挑戦していけたらいいな」、「そんな原体験をこの授業で体験できたらいいな」…これが、アジアものづくり授業プロジェクトの原点なのである。（沼田）

手作りのおもてなし



ともに学習活動・文化・学術研究を交換し、交流しながらお互いの発展に努力して行きたい



